

# ホラッ 10月の 屋外園が呼んでいますよ！！

京都市青少年科学センター

## ダイヤモンドソウ (ユキノシタ科)

大文字草と書くように白い花の形が大の字に見えます。山地の谷川沿いで見られます。品種改良され赤色や桃色の花も見られます。

## ツワブキ (キク科)

葉が厚く、山菜のフキの葉に似ているところからツワブキ(厚葉蕨)と名付けられました。食用や薬用などに利用されます。

## ホトトギス (ユリ科)

花の内側に紫色の斑点があり鳥のホトトギスの胸毛の模様を思わせることからこの名がつけました。屋外園にはよく似たヤマジノホトトギスもあります。

## カリガネソウ (シソ科, 旧クマツヅラ科)

青紫色の花から伸び出したおしべとめしべが目立ちます。花の形が「雁が飛ぶ姿」に似ているのでこの名がつけました。暑さのためか9月下旬にようやく咲き始めました。

## ヤマハギ, ミヤギノハギ (マメ科)

ヤマハギは低山の明るい尾根筋などで見られます。園芸種のミヤギノハギは宮城野萩と書くように宮城県の県花です。花や葉を見比べてみましょう。

## ハナゾノツクバネウツギ (スイカズラ科)

アベリアとも呼ばれます。満開です。蜜を求めてホウジャクという蛾がよく訪れます。強い刈込みにも耐えるので公園の生垣としてよく植えられます。

## どんぐりの背くらべ?

屋外園にはどんぐりのできる木が9種類あります。どんぐりやおわん(殻斗)の大きさ・形・色を比べてみましょう。よく似ていますが、違いが見つかりますよ。



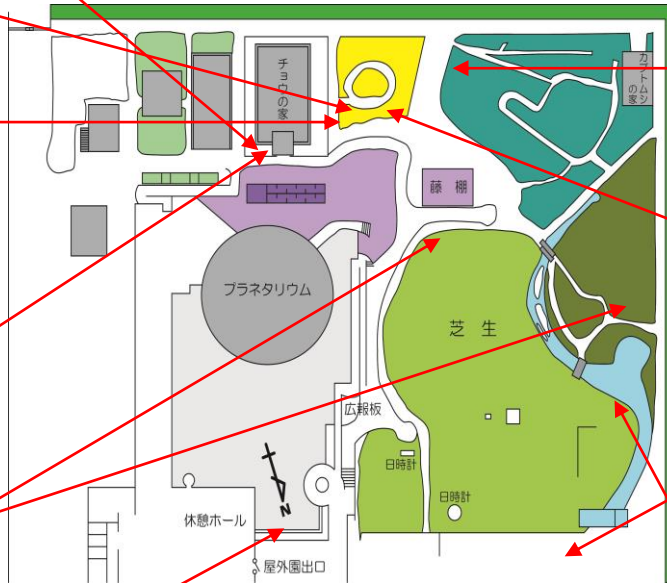
アラカシ



スタジイ



クヌギ



## 芝生広場 秋の野草・バッタ・アカトンボ

エノコログサやススキ, チカラシバ・メヒシバなどイネ科の野草やセイタカアワダチソウなどが見られます。バッタやコオロギの仲間もいます。ウスバキトンボが群れて飛んでいますよ。

## 今が見ごろです! フジバカマ

秋の七草の一つですが自生種はほとんど見られなくなりました。園芸種の中国系のものが増えています。山野にはフジバカマとよく似たヒヨドリバナが見られます。どちらにも独特の香りがあり昔から薬草や匂い袋として用いられました。花の匂いに誘われていろいろな昆虫が訪れます。



ヒヨドリバナ

フジバカマの花を訪れたアサギマダラ



科学センター

## コウヤボウキ (キク科)

山地の乾燥したところに見られます。細い枝を高野山でほうきに利用したのでこの名がつけられたと言われています。

## キイジョウロウホトトギス (ユリ科)

紀伊山地の谷間の崖などで見られます。鮮やかな黄色い花が垂れ下がりが美しいです。

## キバナコスモス (キク科)

熱帯アメリカ原産。園芸植物として栽培されていたものが広がり、河川敷や空き地でよく見かけます。花色には橙色と黄色があります。

## 見るのなら・・・今ですよ!

### ナンバンギセル (ハマウツボ科)

昔南蛮人が持ち込んだマドロスパイプにこの植物の姿が似ているのでつけた名です。ススキやヨシの根に寄生する寄生植物です。





10月

# 花だより

京都市青少年科学センター



キイジョウロウ  
ホトトギス



ホトトギス



ツワブキ



ナンバンギセル



キンモクセイ



トチガガミ



アメリカ  
センダングサ



ミヤギノハギ



ヤマハギ



コウヤボウキ



カリガネソウ



ヨメナ



ヒガンバナ



ダイヤモンドソウ



パンパスグラス



ハナヅク  
ツクバネウツギ



キバナコスモス



ノカンゾウ

屋外園が  
呼んでますよ!